

『せん妄』という言葉を知っていますか？



せん妄とは

一過性に意識障害（ぼんやりしている、混乱しておかしな言動）や幻覚が見える、夜に眠れないなどの症状を呈する一過性の急性発症の症候群を言います。

せん妄は決して珍しい病態ではなく、入院されている高齢患者の 10～40%にも出現すると言われています。また、手術後患者は半数にせん妄を出現しているという報告もされています。

「入院したら急に日にちがわからなくなり、おかしなことを言いだした」などのご家族からの訴えも多く聞かれているかと思えます。

せん妄は在院日数や死亡率、退院後の QOL（生活の質）にも影響を与えるため注意が必要となります。しかし、せん妄の多くは可逆性であり、適切な対応により数日から数週間で改善すると言われています。

せん妄を発生させるメカニズムについて明確にされていないものの、脳内における神経伝達物質が影響していると言われています。

そのため、せん妄になりやすい人の特徴として右の図の項目があげられています。

Q. 「せん妄」になりやすい人は？

- 高齢の方
- 物忘れが目立ってきた
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- 「せん妄」になったことがある方
- アルコールをたくさん飲む習慣がある方

せん妄予防への対策としては？

- ① 早期からの離床を進める
- ② 騒音の低減に努める
- ③ 睡眠の調整を行う



日常生活に近い
状態を心がける！

せん妄は様々なメカニズムによって引き起こされている病態のため、予防が可能かどうかは不明の状態ですが、リスク因子を減らすことで予防の可能性があるのではないかと考えています。

環境因子がどのようにせん妄に影響しているか立証されてはいませんが、せん妄の減少に寄与するとの見解もあり、上記のような環境的介入は家族の方と一緒に実践していける内容ではないでしょうか。

文責：集中ケア認定看護師 山田かの子

